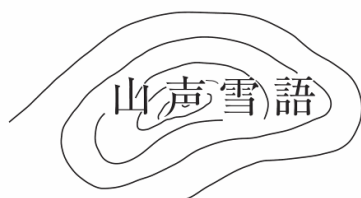


# 京交山岳部報

## 例会予告（2022年11月～12月）

例会・行先	日程・集合	担当者	コース
第2849回 府民 秋の自然観察会 (岳連自然保護委員会主催) 奥嵯峨の紅葉観察会	11月27日(日) 集合 AM9:00 JR 嵯峨野駅 改札口	方山宗子 岡田茂久	嵯峨嵐山駅～大覚寺～嵯峨天皇陵～ 菖蒲谷池(昼食)～京見峠～広沢池～ 嵯峨嵐山駅(14時頃解散予定)
<p>[持ち物] 日帰りハイキング装備、雨具、昼食、飲料、帽子、手袋、筆記用具、ルーペ、マスク、手指消毒用アルコール(感染防止対策)                      ※蜂対策のため、黒っぽい服装や持ち物は避けてください。</p> <p>[講師] 自然保護委員(植物、博物、地歴、野鳥等)</p> <p>[参加費] 500円(参考資料代) ※小中学生は無料(保護者同伴のこと)</p> <p>[天候] 前日18時以降のNHKTV天気予報で、当日午前の降水確率60%以上の場合は中止。                      不明の場合は担当者(自然保護委員)にお問い合わせください。</p> <p>[申込締切] 11月21日(月)までに担当者に連絡してください。</p> <p>[備考] 嵯峨天皇陵は「嵯峨山上陵(さかのやまのえのみささぎ)」というように標高190mの尾根上にあり、京都市西くだった部の好展望地。ピークを越えたところの峠は「京見峠」と言います。                      峠から北に下った「菖蒲谷池」は菖蒲谷の北側に築堤した面積3.2ヘクタールの南北に長い人口溜池。1956(昭和31年)池畔の遺跡から後期旧石器・縄文時代の石器・土器が出土。</p>			
第2850回 納山祭 (兼 長寿お祝い登山) 鞍馬山・鞍馬寺	12月17日(土) 集合 叡電出町柳駅前 午前9時	松田誠二 堀田 剛 室谷和彦	叡電出町柳駅—鞍馬駅 ・・鞍馬山・・鞍馬駅 —出町柳駅前(会食)
<p>備考 納山祭として、寅年の終盤に鞍馬寺まで登ります。                      森本清一氏、鷺見壽末子氏、大槻雅弘氏の長寿をお祝いします。                      出町柳駅前で会食します。費用は山岳部負担です。</p>			

第2851回 初登山（兼新年会） 蹴上・・・南禅寺山・・・ 若王子神社・・・真如堂 ・・・黒谷・・・岡崎神社	1月9日（月・祝） 集合 地下鉄蹴上駅 改札口 午前9時	松田誠二 （堀田 剛 室谷和彦	蹴上・・・南禅寺山・・・ 若王子神社・・・真如堂 ・・・黒谷・・・岡崎神社
備考 初登山と新年会を兼ねて、蹴上から岡崎神社まで歩きます。 2023年は卯年です。ウサギに縁の深い岡崎神社に参拝します。 岡崎公園周辺で喫茶歓談します。費用は山岳部負担です。			
次回の集会 日時 2022年11月9日（水） 午後6時30分～ 場所 職員会館「かもがわ」		次々回の集会（兼新年会・初登山） 日時 2023年1月9日（月・祝） 午前9時～ 場所 詳細は例会予告参照	



## 久し振り

T・H

令和4年7月20日に2021年度の総会参加で久し振りに京交山岳部の多くの方々とお会いでき、コロナ禍でも皆さまお元気で喜ばしかった。

コロナ禍に振り回されて2年半ほど。この間、人が集まって何かすることがためられる期間が長く、京交山岳部も集会等が開催できないなど、何か人と人之間などいろんな所に距離が出来たような感覚である。

昨今の厳しい状況の元凶はコロナ禍だけでなく、ロシアとウクライナの戦争、世界的な物価高、中国のゼロコロナ政策。そこに追い打ちの円安で、輸入に頼っている日本は増々物価高と貿易赤字の影響が出ている。

京都市財政も大変であることはだいぶ市民に浸透してきているが、その原因はいろいろな理由があるようで、容易にわからず、その改善に向けては短期的には難しく、市役所だけでなく京都市総体での理解と努力、そして変革が必要と感じている。

京都市は今、豊かな自然に囲まれた京都の魅力に出会えるトレイルコースの「京都一周トレイル会」発足30周年記念のフォトコンテストを開催している。

このコロナ禍で、在宅勤務とかで息が詰まるような日々のリラックスの一つとして、自然に触れ合える山行が見直されている気がする。

京交山岳部のつながりで、人とのつながりが持てていることに感謝する次第である。

(2022. 10. 23 記)

## 小浜 久須夜ヶ岳（1等△618.7） 三方 梅丈岳（・395m）

井戸 澄夫

久須夜ヶ岳には昨年12月5日に堀田氏、廣瀬氏と行ったが、エンゼルラインが12月から通行禁止となっていたため、山頂へ行くのを断念した。今回はそのリベンジである。

併せて三方の名山、梅丈岳に行くことにした。いずれも車でほぼ山頂まで行ける。前日まで大型台風が通過して心配したが、幸いにして急回復してくれた。

堀田氏、他1名を京都市内で、廣瀬氏を安曇川の自宅で拾い、11時頃に小浜漁港の食堂で焼き鯖、刺身等を食した。旬のサバは実に美味しかった。久須夜ヶ岳へはエンゼルラインで山頂駐車場へ行き、そこから10分ほど登れば1等三角点がある。山頂からの日本海の眺望は絶佳である。

次に三方の梅丈岳へ行った。レインボーラインで山頂直下の駐車場まで行き、ケーブルカー又はリフトを利用して山頂に行く。山頂は平坦でレストランや足湯施設などがあり、大勢の観光客で賑わっていた。展望台からは南に三方五湖、北に日本海の素晴らしい景色を満喫できる。

今回、私が梅丈岳に行ったのは特別の理由がある。私の俳句の先生が7月31日に急逝した。55歳であった。死因は新型コロナウイルス感染で、高血糖値が重症化の要因であったとのこと。それと何故かワクチン嫌いで、一度もワクチン接種をしなかった。芭蕉が大好きな人で、毎年8月初めの仙台七夕祭りには松島を訪ねていた。今年も奥の細道の旅を楽しみにしておられた。その先生が学生時代にゼミの恩師らと旅行したのが梅丈岳で、山頂からの眺望に感動したという思い出の地である。5年ほど前に俳句の会の吟行でも訪ねたが、学生時代の楽しい思い出を語っておられた。

追悼句

君ゆくや 奥の細道 夏の旅 澄夫

帰路、熊川宿の「道の駅」で鯖寿司を土産に購入し、朽木村の「天空の湯」で汗を流した。廣瀬氏も新しい生活を始めようとしている。人生は楽しく送るのが一番である。

【参加者】 堀田 剛、廣瀬光太郎、井戸澄夫、他1名



久須夜ヶ岳（1等△618.7）



梅丈岳から三方五湖を望む



## 山岳連盟自然保護委員会主催「双ヶ丘キノコ観察会」

岡田 茂久



2022年10月16日(日)、いつの間にか、コロナ騒動も他事と思われるような世間の雰囲気、京都府山岳連盟自然保護委員会主催のキノコ観察会も、大人60名、子供2名、それに自然保護委員16名の総勢78名の参加者になり、好天にも恵まれにぎやかな自然観察会となった。

集合場所はJR花園駅前広場、集合時間の9時前には参加者は全員集合。コロナ対策としては、「発熱などの症状がある方は参加を控えて下さい。手指の消毒、マスクを着用の事」と、事前通知しただけの自主規制である。

9:30. 双ヶ丘三の丘登り口に移動し、例年講師をお願いしている関西菌類談話会の佐野修治氏先生のキノコとはの話。今年も大型の写真パネルを何枚も持参頂いた。

①植物と動物と菌類が生物である。②植物は生産者、動物は消費者で他の生物の生命を奪って生きている。③菌類には細菌と細胞核を持つ真菌があり、真菌にはカビ、酵母、キノコ等がある。④菌類であるキノコは動物、植物等の間で有機物を無機物に換える作業を受け持っている。⑤キノコは植物より動物に近い。何キロメートルという世界最大の生物はキノコである。⑥カエントケに対する注意等々。定番の当初説明にも熱がはいる。

三の丘から二の丘の東山麓を巡り、二の丘と一の丘の鞍部に続くトラバース道に行く。

好天が続いた後であるが、今年はキノコの生育が良く、次々とヒラタケ、アラゲキクラゲ、幾種類ものサルノコシカケ、カワラタケ。キノコ観察会では初めて見つけたオオワライタケ、スッポントケの幼菌、カンゾウタケも見つかる。

※オオワライタケ

大型で全体的に黄色みがかかった褐色でおいしそうに見えるが、菌肉は汗のような不快な臭いを持ち、味は強烈に苦いという。フランスではオリーブ油に着けて食するという。







オオワライタケ成菌

このキノコ摂取による中毒症状は、1922年に日本産のオオワライタケで初めて確認されたという。食すると致死性は無いが幻覚症状を起こすという。

近世の中毒例では、裏山で採集したキノコを汁の具にして食べたところ、やたら愉快的気分となって大笑いをきたし、幻覚も見たというが、症状は8時間ほども続き、眠って起きた後は平静に戻っていたというもので、呼吸器・循環器・消化器にはなにも異常がなかったという。

オオワライタケを食した場合の中毒は、神経性中毒で顔の筋肉が引き攣り、笑ったような顔になるのではという説もある。

今昔物語に、鞍馬山で尼さんが大笑いで踊りながら山から降りてきたという説話があるが、これにもオオワライタケの中毒めいた表現があり、古来からこのキノコの毒性は認められていたらしい。

同様の作用をするというキノコにワライタケがあるが、豪華な黄金色のオオワライタケとは、科も属も異なり鼠色の円錐形笠径3・4cmの貧相な茸である。



スッポンタケの幼菌

断面

成菌

※スッポンタケ

成菌の形は陰茎に似ている。英語学名もこれにちなむ。日本名は傘の形がスッポンの頭部に似ることからきている。

明治天皇に粘菌について進講する際、キャラメル箱に標本を入れて説明したという天下の奇人、博物学者南方熊楠の随筆「履歴書」を見ると、惚れ薬として描いたスッポンタケの絵は、毛や血管のような物が書き加えられており、どう考えてもわざと〇〇〇に似せて書いたとしか考えられない図が載っている。

熊楠は牛蒡の様な臭気と書いているが、成菌は猛烈な悪臭がするといひ、1日で溶けて無くなるという。

幼菌は写真のように「じゃがいも」状でぷりぷりとしたゼラチン状の肉で満されており、嗅いでみたが少し埃っぽい匂いだが悪臭ではない。油で揚げると魚のような味になるという。欧州では食用とされ中華料理にも利用されている。



断面



双ヶ丘三の丘からの西山

※カンゾウタケ

全世界に広く分布している食用キノコ。欧米では「貧者のビーフステーキ」、「牛の舌」と呼ばれて、広く食用にされているとキノコ図鑑にのっている。

実物の外観は動物の肝臓に酷似しており、菌肉も実際の断面を見ると、色といい感触といい鳥のレバーのようにも牛タンのようにも見える。断片を持ち帰ったのでフライパンで焼いて少し齧ってみようとしたが、家族全員に反対され断念した。

11：15. 双ヶ丘一の丘は（雙ヶ岡 115.8m三角点があり）。京都西山の西南方面だけが開けている。また、一の丘は雙ヶ岡1号古墳という6世紀末から7世紀初頭の地方豪族首長の墓ではと推定されている。一の丘頂上ドーム下には「清原真人夏野公墓」の石碑がある。調べてみると平安時代の8世紀末から9世紀後半にかけて臣籍降下した100人以上の皇族の一人の様である。11：40一の丘を降り、11：50一の丘東麓の「こもれびの広場」で昼食。京都駅で購入した「六甲山縦走弁当」はまことに美味だった。12：40に現地解散となる。

【京交山岳部参加者】 方山宗子、岡田茂久

## 例会報告(まとめ)

例会 No.	目的地	天候	月 日	担当者	参加者	記 事
2847	若狭の名山 久須夜ヶ岳 梅丈岳	晴れ	令和4年(2022) 9月19日(日)	井戸澄夫	堀田 剛 廣瀬光太郎 他1名	別稿詳報
2848	府民秋の自然観察会 (岳連自然保護委員会主催) 双ヶ丘のキノコ観察会	晴れ	令和4年(2022) 10月16日(日)	方山宗子 岡田茂久		別稿詳報

## 雑 報

△△△ 今回部報 (No.816) は2022年11、12月合併号として発行します。  
次回部報は2023年1、2月合併号とする予定です。

△△△ 2022年9月の集会  
日 程 2022年7月20日（水）午後6時半～  
場 所 職員会館「かもがわ」  
出席者 松田誠二、森本清一、井戸澄夫  
内 容 例会報告、例会予告、個人山行、岳連関係報告ほか

△△△ 2022年10月の臨時集会  
日 程 2022年10月19日（水）午後6時半～  
場 所 職員会館「かもがわ」  
出席者 松田誠二、堀田 剛、室谷和彦、井戸澄夫  
内 容 長寿祝い登山、納山祭、新年会、初登山、ほか

△△△ 部報発送担当からのお知らせ  
職場の異動に伴い、部報の発送先、発送方法に変更がある場合は、必ず部報発送担当者（松田）まで連絡してください。  
※パソコンに部報データを送信することもできます。送信希望の方は、パソコンのアドレスを部報発送担当者に連絡してください。

△△△ 部費の徴収について  
山岳部費については2019年度から徴収せず、山岳部の活動は内部留保金で運営しています。

△△△ 日山協山岳共済会の山岳遭難・捜索保険について  
共済会事務局から、令和4年度からは個人契約にするとのことです。  
年末には個人契約としての案内が各自に送られることとなります。  
申し込みも各人が共済会に直接申し込むこととなります。（井戸）

△△△ 森本清一氏の卒寿、鷺見壽未子さんの米寿、及び大槻雅弘氏の傘樹のお祝い登山を  
12月17日（土）に実施します。詳細は例会予告を参照してください。

令和4年11月

京都の観光案内情報

二条城まつり～12/4

京の食文化ミュージアム・あじわい館(中央卸売市場内) 京・朱雀すし市場(七条千本)

トロッコ列車ライトアップ「嵐山～亀岡」～12/29

伏見十石舟～12/4 伏見三十石舟～3/27 琵琶湖疎水船(火・水連休)～30

京都駅イルミネーション5～12/25

Table with 30 rows listing various events and festivals in Kyoto, including dates, locations, and descriptions. Includes icons for fire, water, and other categories.

《新入部員募集中》

令和4年11月1日

京都市右京区太秦下刑部町18

京都市交通局内

京交山岳部

http://kkmc.web6.jp